

ヴェネツィアのリコーダーソナタ

リコーダー

本村睦幸

チェンバロ

根本卓也



- A. ヴィヴァルディ: リコーダーソナタ ト長調 RV 806
- B. マルチェッロ: リコーダーソナタ 第6番 ハ長調 S 759
- F. M. ヴェラチーニ: リコーダーソナタ 第9番 ト短調
- B. ストラッチェ: パッサカリア へ短調 (チェンバロソロ)

2018年2月12日[月・休]

Space 415

中野区新井2-48-12
<http://space415.info/>

JR中央線／東京メトロ東西線
中野駅北口より徒歩12分

野方警察署近く、区立野方児童館の隣
「芦野」の表札がある入口をいってすぐ右の建物の2階

休憩なし60分のトークコンサート
同プログラム3回公演

昼 13:30 開演 (13:00 開場)
夕 16:00 開演 (15:00 開場)
夜 18:30 開演 (17:30 開場)

全自由席 ¥3,000 要予約

■ご予約・お問い合わせ

デ・ルストホフ: lusthof.concerts@gmail.com

あしの: 090-6045-9311

<http://mutsuyukimotomura.com/>

中野の Space 415 で、トークを含め、休憩なし 60 分のプログラムを 1 日 3 公演行う「小さな室内楽」。第 28 回は、ヴェネツィアのリコーダーソナタを集めます。様々な作品がある中から選ぶのは迷うところですが、ヴィヴァルディの真作リコーダーソナタである RV806 は、21 世紀になってから発見されたのでまだ広くは知られていないかもしれません。また、ヴィヴァルディと対立していた当時の大物マルチェッロ、国際的に活躍したヴァイオリニストのヴェラチャーニには、それぞれ 12 曲のリコーダーソナタがあり、リコーダーの重要レパートリーですが、そこから 1 曲ずつ選びました。共演は、オペラ指揮者で作曲家、通奏低音に造詣が深いチェンバリストでもある根本卓也さんです。ヴェネツィアらしい通奏低音を弾いていただけるはず。ご来聴お待ちしております。どうぞお楽しみに。

なお、休日のため、夜の部の開演は、いつもより早めです。お気をつけください。

★ 約100m先左側(児童館手前)

⑤ 二本目の角を左折
(角切りに沿って)

④ 体育館の次の信号を右折

③ 中野体育館信号を左折

② 左手のエスカレーター
/階段を登る

① 中野駅北口下車
JR/東西線

Space 415
〒165-0026
中野区新井2-48-12
電話03-5380-2430

予告

4月20日(金) 小さな室内楽 第29回 共演: 三和睦子(チェンバロ)

本村睦幸 Mutsuyuki Motomura (リコーダー)

東洋のナポリに生まれる(笑)。中2頃リコーダーにはまり、それをこじらせたまま現在に至る。アムステルダム音楽院卒。W. ファン・ハウエらに師事。アムステルダムを拠点とする十余年に渡る活動を経て、2001年に帰国。リコーダー音楽が花開いたルネサンス・バロック時代の室内楽の楽しみを現代に活かすことを夢見て、愛好家の方々にとっての聴く喜び、奏でる喜びの双方を見据えた活動を展開している。現在は、リコーダーに本来の小さなサロンのあり方を探る〈小さな室内楽〉シリーズを東京での活動のベースにおきながら、リコーダーの様々なレパートリーを網羅的に取り上げる〈本村睦幸リコーダーシリーズ〉や、古楽器に限らない多様な演奏家との共演、現代作品の委嘱などをも通してリコーダー音楽の可能性を追求している。CDに「オランダバロックの愉悅」、「バルサンティ:リコーダーソナタ全6曲」、「無伴奏リコーダー600年の旅」があるほか、昨年は、CD「テレマン:無伴奏フルートのための12のファンタジア」に加えて、同曲集のアルトリコーダー版を全音楽譜出版より校訂出版している。高田馬場リコーダー練習所コーチ。デ・ルストホフ園長(自称)。ホームページは、<http://mutsuyukimotomura.com/>



根本卓也 Takuya Nemoto (チェンバロ)

東京藝術大学大学院修士課程(指揮専攻)修了。在学中に、パッサ・コレギウム・ジャパンの鈴木雅明氏との出会いから古楽へと傾倒し、修了後渡仏。リヨン国立高等音楽院で、通奏低音のディプロマを取得。帰国後は「アンサンブル・ラ・レヴェランス」「アンサンブル・ミリム」「ジュゴンボーイズ」等のグループで、指揮者・チェンバロ奏者として活躍。作曲家としての顔も持つ。第3回東京かつしか作曲コンクール2015第3位入賞(1・2位無し)。2016年6月には、サクセス・歌とのトリオ「Nemo Concertato」で、谷川俊太郎の詩に寄せたCDブック『大人のための俊太郎』を上梓(アルテス音楽出版刊)。2018年12月には初のオペラ《景虎(仮題)》が(公財)妙高文化振興事業団の委嘱で初演予定。現在、新国立劇場オペラ部門音楽スタッフ(指揮)として年間を通して公演に寄与する傍ら、演奏・指導の両面で活動の幅を広げる。HP: <http://nemototakuya.info/>